キャラクター名
墨野　雨

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス オルクス	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18	性別	男
覚醒	忘却	衝動	加虐	初期侵食率	32 %
出自	双子	経験	敵性組織	邂逅	同志

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	1	0	0			1
精神	2	1	3	4		10
社会	5	0	0			5

HP	32
行動値	12
(非装備時)	12
戦闘移動	17
全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：レネゲイド	2		情報：UGN+2 噂話+2	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
お助け		0				仲間補助（1+2）　5
		0				
篠突く雨	ＲＣ	10r+1				攻撃（2+3+4or3+4）
篠突く雨	ＲＣ	13r+1				100%

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			見た目普通の服、黒いトップス

合計装甲：	1	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
コネ：噂好きの友人	
思い出の一品：ロケットペンダント	
携帯	
応急手当キット	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
D	P	N		
S：ペットのフクロウ（オウル）	P　友情	N　偏愛		
	P	N		
	P	Nなんかやばそう		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　12	残り財産P：　4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
アクセル	4	3	セット	視界	単体	自動	--	
効果：R間、行動値+4*2（8=16）								
C:ソラリス	3	2	Mj	--	--	--	--	
効果：C値-3								
要の陣形	3	3	Mj	--	3体	--	--	
効果：対象を3体に変更/１シナリオ3回								
導きの華	2	2	Mj	視界	単体	自動	--	
効果：対象のMjの達成値に+［2*2］(4)								
雨粒の矢	2	3	Mj	視界	シーン(選)	対決	--	
効果：射撃：攻撃力+2*2(4)（C不可）								
流血の胞子	3	2	Mj	視界	--	対決	--	
効果：射撃：邪毒ランク3（ダメ3*3＝9）								
縛鎖の空間	3	3	Mj	視界	単体	対決	--	
効果：射撃：重圧・放心/1シナリオ3回								
癒しの水	2	2	Mj	視界	--	自動	--	
効果：HPを2D10+6回復								
命の盾	1	3	R	至近	自身	対決	--	
効果：ドッジ								
群れの召喚	1	2	R	至近	自身	対決	--	
効果：ドッジにダイス+1個（6D10）								
狂戦士	3	5	Mj	視界	単体	自動	--	
効果：対象のC値-1、判定のダイス3*2個（6）								
止まらずの舌	1	3	Mj	至近	単体	対決	--	
効果：質問								
	★	--	メジャー	至近	自身	自動	--	
効果：								

墨野 雨（すみの あめ） 6/9　生まれ
「あ。んー…おなかすいた」
「この辺、スーパーがあって、安売りしてるんだ」
「邪魔、だなあ」

UGNに拾われた男の子。記憶喪失になっているところを保護。当時小学校中学年くらい
現在も記憶がない。
オーヴァードだったので、UGNチルドレンとして育成。現在はUGNエージェントとして白フクロウとともに活動している
また、フクロウはAオーヴァード

＊
時々夢の中で同じ顔のやつを見かける
髪色は違う同じ姿のやつ。腹はぱっくりとひらき、そこから臓物が見え、血染めになっている、同じ顔のやつが。
それがいったい誰なのかわからない。
だけど、だれなのか、知りたくて調べたくて
自分の手が、眼が、胸が、熱くなりうずく。そんな矛先の分からぬ衝動を抑えている
＊

------卓履歴--------
10/7　　第零回　六道の理
10/28、11/25 第一回　六道之理
12/2、12/10　第二回　六道之理